

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～26℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり26トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.4トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の79%（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり20kgの水揚げで、前週の77%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり618kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり39kgの水揚げで、前週の60%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり1.7トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週の25%（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり260kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり684kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが1日当たり57kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり20kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/20～6/23の4日間）沖合イカ釣（船凍船）は、対馬沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～秋田沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-10号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>